

環境経営活動レポート

2025年度

(対象期間：2025年2月1日～2026年1月31日)



東栄電化工業株式会社

2026年3月16日発行

目 次

1. 組織の概要、対象範囲	2 頁
2. 実施体制	3 頁
3. 環境経営方針	4 頁
4. 環境経営目標	5 頁
5. 環境経営計画	6 頁
6. 1 環境経営計画に基づき実施した取組内容	7 頁
6. 2 環境経営計画に基づき実施した取組内容	8 頁
7. 1 環境経営目標の実績及び活動評価表	9 頁
7. 2 環境経営計画の取組結果とその評価、 次年度の取組内容	10 頁
7. 3 次年度の環境経営目標と環境経営計画	11 頁
7. 4 2026年度環境経営目標の取組内容	12 頁
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の 結果並びに違反、訴訟等の有無	13 頁
9. 代表者による全体評価と見直し・指示	14 頁

1. 組織の概要及び対象範囲

1.1 組織の概要

【名 称】 東栄電化工業株式会社
【代表者】 代表取締役 山本茂樹
【資本金】 5, 0 0 0万円
【設 立】 1 9 7 2年4月28日
【決算期】 1月
【所在地】 本社・相模原工場
〒252-0217 神奈川県相模原市中央区小町通2-5-9
TEL : 042-771-1528 FAX : 042-773-4032
URL. <https://toeidenka.co.jp>

【環境管理の責任者及び担当者（事務局）連絡先】

責任者 中根 清和
事務局 唐木 智則、杉山 直、森木 和男
連絡先 042-771-1528

【事業活動内容】

金属表面処理加工
(アルミニウムへの陽極酸化処理及び化成皮膜処理、ショットブラスト処理)

【事業の規模】

※対象範囲の本社・相模原工場のみ記載

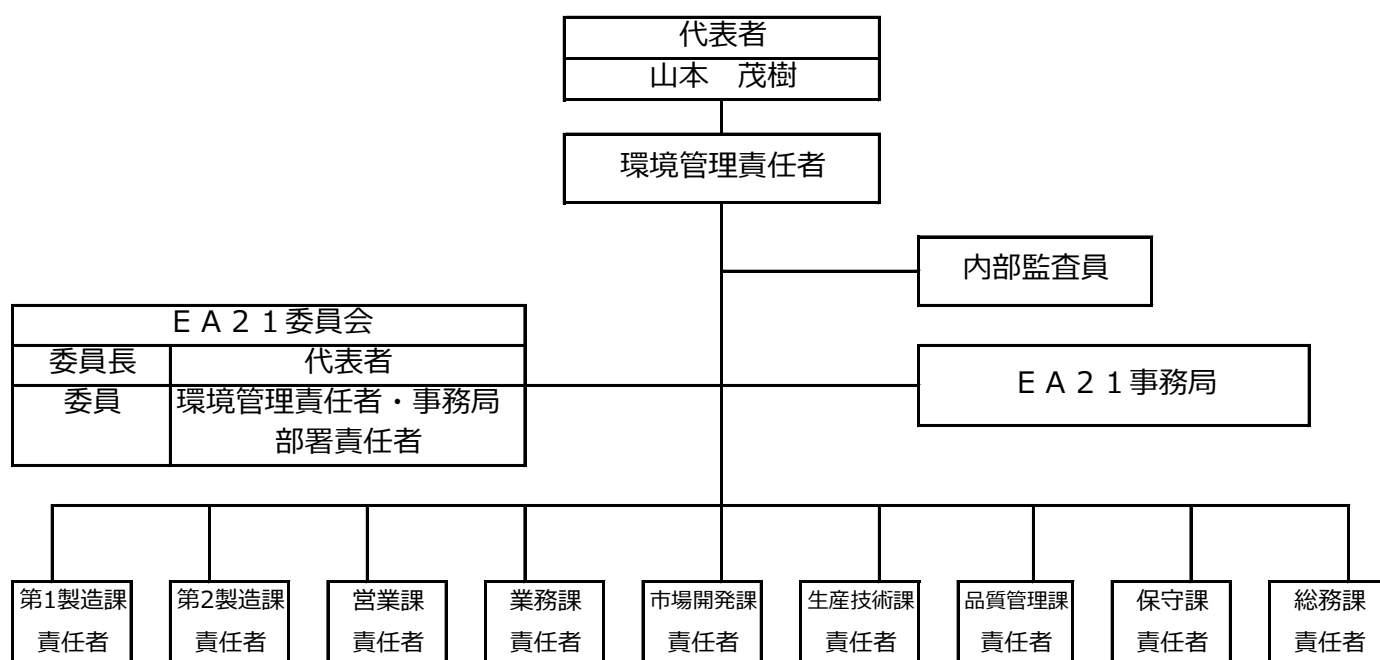
売上高（2025年2月1日～2026年1月31日）	843百万円
従業員数	122名
延べ床面積	4,678m ²

1.2 対象範囲

- 1) 対象範囲 本社・相模原工場
- 2) 活動範囲 金属表面処理加工
- 3) レポートの対象期間及び発行日 表紙に記載

2.実施体制

環境経営システム実施体制図



役割及び責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者	・ 経営における課題とチャンスを整理し、明確にする
	・ 環境経営に関する方針（環境経営方針）を定め、誓約する
	・ 効果的で必要十分な実施体制を構築し、役割、責任及び権限を定める
	・ 環境経営に必要な資源（人・もの・資金・情報）を用意する
	・ 環境経営全体の取組状況を評価し、総括的見直し、必要な指示を行う
	・ 環境方針、実施体制、目標計画を従業員に周知させる
環境管理責任者	・ 環境経営目標、環境経営計画の作成・承認及び社内周知
	・ 全社組織へのEA21活動実施の統括
	・ EA21活動結果全体のとりまとめ承認及び代表者への報告
	・ 内外環境コミュニケーションへの対応
	・ 問題点の是正処置の統括
EA21委員会	・ 環境経営方針等決定事項の社内伝達
	・ EA21活動に関する協議、意見交換
EA21事務局	・ 環境管理責任者の補佐
	・ EA21活動に関する事務
部署責任者	・ 環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画内容の部門内周知
	・ 部門内EA21活動の実施指揮及び部門内EA21活動結果のとりまとめ
	・ 問題点の是正処置、予防処置の実施
従業員	・ 環境経営目標、環境経営計画等に基づくEA21活動の実施
	・ EA21活動に関する提案
内部監査員	・ 管理責任者が決めた監査基準（客観性・整合性・公平性）に順守し内部監査を行う
	・ 内部監査結果を被監査部署長および管理責任者に報告する

3. 環境経営方針

環境基本理念

東栄電化工業株式会社は、金属表面処理技術を通じて、自然豊かな地球を次の世代に引き継ぐため、環境保全活動に積極的に取り組みます

1. 我々は、金属表面処理を中心とした事業活動を通じて、環境保全に貢献し続けます
2. 未来の地球環境を守るため、環境負荷の低減に努め持続可能な社会の実現に寄与します

行動指針

1. 自社と社会の環境負荷の低減を図るため以下の活動に取り組みます
 - 1) エネルギーの使用量を見える化し、金属表面処理製品の単位表面積当たりのエネルギー使用量・CO₂排出量が把握できるしくみを作ります
 - 2) 生産活動のCO₂排出量を削減します
 - 3) CO₂排出量が少なくエネルギー効率の良い設備を導入します
 - 4) 環境負荷低減に役立つ金属表面処理技術を活かした新製品を拡販します
2. 環境関連を含む全ての法規を遵守します
3. 環境経営活動を継続的に改善し、さらに以下の事業リスクに取り組みます
 - 1) 資源とエネルギーを節約し、コストを削減します
 - 2) 作業環境を改善し、新規採用・雇用延長に積極的に取り組みます
 - 3) 老朽化設備を更新し、環境トラブルのリスクを低減します
4. 環境経営方針をすべての社員に周知します

2025年1月9日
東栄電化工業株式会社
代表取締役 山本 茂樹

4. 環境経営目標

(中期目標)

2025年度

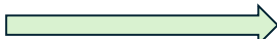
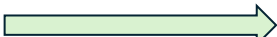
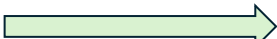
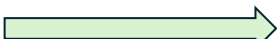
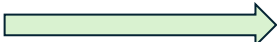
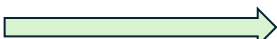
環境経営目標設定表

環境経営目標	単位	基準値	年 度 目 標			
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	
売上高	万円	83,780	87,969	92,158	96,347	
二酸化炭素の排出量削減	原単位	10.56	10.46	10.35	10.24	
	kg-CO ₂	884,828	919,779	953,845	987,026	
			1 %削減	2 %削減	3 %削減	
	原単位	12.33	12.21	12.08	11.96	
	kwh	1,033,100	1,073,907	1,113,682	1,152,423	
			1 %削減	2 %削減	3 %削減	
	原単位	0.0667	0.0660	0.0653	0.0647	
	L	5,585	5,806	6,021	6,230	
			1 %削減	2 %削減	3 %削減	
	原単位	1.87	1.85	1.83	1.81	
	m ³	156,763	162,955	168,991	174,869	
			1 %削減	2 %削減	3 %削減	
一般廃棄物の排出量削減 (可燃ごみ)	原単位	0.095	0.094	0.093	0.092	
	kg	7,940	8,254	8,559	8,857	
			1 %削減	2 %削減	3 %削減	
産業廃棄物の排出量削減 (廃プラ等)	原単位	0.407	0.403	0.399	0.395	
	kg	34,080	35,426	36,738	38,016	
			1 %削減	2 %削減	3 %削減	
水の使用量削減	原単位	0.499	0.494	0.489	0.484	
	m ³	41,782	43,432	45,041	46,608	
			1 %削減	2 %削減	3 %削減	
化学物質の使用量削減	原単位	0.949	0.940	0.930	0.921	
	kg	79,525	82,666	85,728	88,710	
			1 %削減	2 %削減	3 %削減	
クレーム発生率の削減	%	0.143	0.136	0.129	0.122	
			5 %削減	10 %削減	15 %削減	

※電力のCO₂排出係数は、2023年(令和5年)中国電力実績の調整後排出係数0.511kg-CO₂/kwhを適用した。

※原単位は、「売上10,000円当たりの値」とした。

5. 環境経営計画

No	環境経営目標	目標達成手段	責任部門 (責任者： 部門長)	スケジュール
				2025年2月 ～2026年1月
1	二酸化炭素の排出量削減	生産設備の適正管理	第1製造課	(左記達成手段全て) 
	1) 電力の使用量削減	室温の適正化(設定は個々の場所による)夏：28℃、冬：20℃	第2製造課	
		PC、I/P、照明の切り忘れ回数の削減及びこまめな節電		
	2) 化石燃料の使用量削減 (ガソリン・軽油)	エコドライブ10による運転	営業課	(左記達成手段全て) 
		顧客訪問・出張等、移動手段の効率よい選定	市場開発課	
	3) 都市ガスの使用量削減	ボイラー稼働時間の適正化	保守課	(左記達成手段全て) 
		蒸気漏れ時の迅速な対応		
2	廃棄物の排出量削減	分別管理の周知徹底(計量廃棄)	総務課	(左記達成手段全て) 
	1) 一般廃棄物の排出量削減 (可燃ごみ)	カーボンのゼロ化及びペーパーレス化	業務課	
		新聞紙、包装材の再利用	第2製造課	
	2) 産業廃棄物の排出量削減 (廃プラ等)	分別管理の周知徹底	総務課	(左記達成手段全て) 
		設備の材質変更の検討・実施	保守課	
3	水の使用量削減	節水の意識を高め、徹底	第1製造課	(左記達成手段全て) 
		積算流量計の監視	保守課	
4	化学物質の使用量削減	適正な維持管理の徹底(管理幅内)	第1製造課	(左記達成手段全て) 
		化学物質使用量削減の推進	生産技術課	
5	クレーム発生率の削減	再発防止活動の推進	品質管理課	(左記達成手段全て) 
		発生状況の社内周知 (グラフの掲示)		
		受入検査開始と出荷検査強化		

6. 1 環境経営活動計画に基づき実施した取組内容

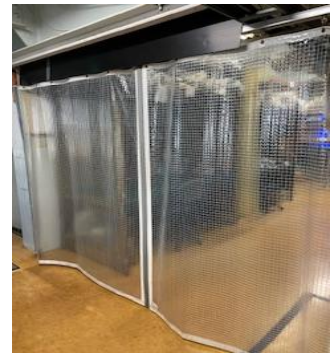
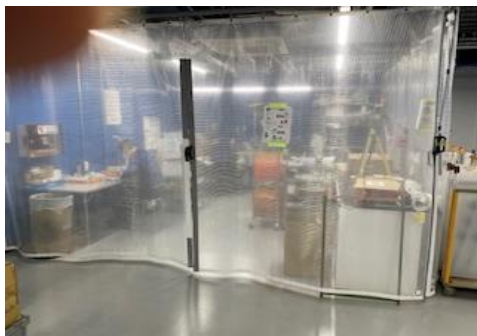
No	環境経営目標	目標達成手段	責任部門 (責任者： 部門長)	実施した取組内容
				2025年2月 ～2026年1月
1	二酸化炭素の排出量削減	生産設備の適正管理	第1製造課	仕事量に合わせ設備稼働管理を実施(無駄な時間を無くす)
	1) 電力の使用量削減	室温の適正化(設定は個々の場所による)夏：28℃、冬：20℃ PC、IATN、照明の切り忘れ回数の削減及びこまめな節電	第2製造課	室温の適正化及びこまめな節電を実施
	2) 化石燃料の使用量削減 (ガソリン・軽油)	エコドライブ10による運転 顧客訪問・出張等、移動手段の効率よい選定	営業課 市場開発課	エコドライブ10による運転を実施 行先に応じて、効率を考え社用車及び公共交通機関を利用した出張を実施
	3) 都市ガスの使用量削減	ボイラー稼働時間の適正化 蒸気漏れ時の迅速な対応	保守課	ボイラー稼働時間の適正管理を実施(夏・冬の時間設定) 蒸気漏れ時、迅速に処置を実施
	2 廃棄物の排出量削減	分別管理の周知徹底(計量廃棄)	総務課	一般、産廃の分別管理を実施
	1) 一般廃棄物の排出量削減 (可燃ごみ)	カーゴのゼロ化及びペーパーレス化 新聞紙、包装紙の再利用	業務課 第2製造課	ペーパーレス化(パソコン2画面)の推進を実施 新聞紙、包装紙の再利用を実施
	2) 産業廃棄物の排出量削減 (廃プラ等)	分別管理の周知徹底 設備の材質変更の検討・実施	総務課 保守課	分別管理及び汚泥の削減を実施 治具材質の変更を実施
3	水の使用量削減	節水の意識を高め、徹底 積算流量計の監視	第1製造課 保守課	給水時のオーバーフローによる漏洩監視を実施 積算流量計監視を実施
4	化学物質の使用量削減	適正な維持管理の徹底(管理幅内の管理) 化学物質使用量削減の推進	第1製造課 生産技術課	分析頻度を上げ適正補充を実施
5	クレーム発生率の削減	再発防止活動の推進 発生状況の社内周知(グラフの掲示) 受入検査開始と出荷検査強化	品質管理課	対策会議及び再発防止対策の実施 発生状況グラフの掲示を実施 検査による不具合発見強化を実施

6. 2 環境経営活動計画に基づき実施した取組内容

節水の取組（流量計・積算流量計の監視）



節電の取組（部分的なカーテンの設置による冷暖房の効率）



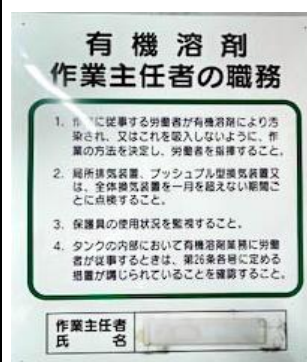
廃棄物置場（分別管理の取組による3Rの促進）



エコドライブの推進、アイドリングストップ 表示による意識づけ



化学物質管理表示による安全性確保



7. 1 環境経営目標の実績及び活動評価表

2025年度（2025年2月～2026年1月）

評価 達成：○ 未達：× 計画：□ 実施：■ 四捨五入数値は合計で修正

No	環境経営目標	単位	基準値	2025年度	売上目標(万円)	取組実績 (2025年2月～2026年1月)														活動評価		
			2024年度	目 標	87,969	2月	3月	4月	5月	6月	7月	年間 挽回策	8月	9月	10月	11月	12月	1月	実 績	評 価	達成の要因・未達成 の原因	未達成の場合の是正処 置・予防処置
1	二酸化炭素の排出量削減	原単位	10.56	10.46	原単位	10.89	9.83	9.73	9.46	9.90	10.36	削減活動 を継続す る	10.44	10.41	9.01	9.91	10.03	10.84	10.04	○	達成の要因：以下の 1)～3)の項目の内 容により目標達成し た。	
		kg-CO ₂	884,828	919,779	計画CO ₂ 排出量	76,648	76,648	76,648	76,648	76,648	76,648		76,648	76,648	76,648	76,648	76,648	76,648				
					計画累積値	76,648	153,296	229,945	306,593	383,241	459,889		536,538	613,186	689,834	766,482	843,130	919,779				
				1%削減	実績CO ₂ 排出量	68,194	71,886	70,423	65,169	75,191	78,999		62,372	73,784	73,800	62,817	70,688	73,411	846,735			
					実績累積値	68,194	140,080	210,503	275,672	350,863	429,861		492,234	566,018	639,818	702,635	773,323	846,735				
					活動評価及び評価	■ ×	■	○	■	○	■		○	■	○	■	○	■ ×				
	1) 電力の使用量削減	原単位	12.33	12.21	原単位	13.42	11.66	11.15	11.04	11.83	12.98	削減活動 を継続す る	13.74	12.81	10.26	11.64	12.03	13.11	12.09	○	達成の要因：仕事量 に合わせ設備稼働を 実施し管理できたこ と。	
		kwh	1,033,100	1,073,907	計画電力使用量	89,492	89,492	89,492	89,492	89,492	89,492		89,492	89,492	89,492	89,492	89,492	89,492				
					計画累積値	89,492	178,985	268,477	357,969	447,461	536,954		626,446	715,938	805,431	894,923	984,415	1,073,907				
				1%削減	実績電力使用量	84,038	85,284	80,729	76,046	89,875	99,029		82,070	90,787	84,067	73,783	84,773	88,776	1,019,257			
					実績累積値	84,038	169,322	250,051	326,097	415,972	515,001		597,071	687,858	771,925	845,708	930,481	1,019,257				
					評 価	■ ×	■	○	■	○	■ ×		■ ×	■ ×	■	○	■	○	■ ×			
	2) 化石燃料の使用量削減 (ガソリン・軽油)	原単位	0.0667	0.0660	原単位	0.031	0.045	0.042	0.049	0.050	0.051	削減活動 を継続す る	0.051	0.048	0.042	0.047	0.037	0.047	0.045	○	達成の要因：顧客訪 問について、効率を考 え先行に応じて社用 車又は公共交通機関 を利用して出張を実 施できたこと。	
		L	5,585	5,806	計画燃料使用量	484	484	484	484	484	484		484	484	484	484	484	484				
					計画累積値	483.8	967.6	1,451.4	1,935.2	2,419.0	2,902.8		3,386.6	3,870.4	4,354.2	4,838.0	5,321.8	5,805.6				
				1%削減	実績燃料使用量	194.69	329.80	307.42	340.21	378.85	388.36		301.75	339.89	341.93	298.88	263.57	318.20				
					実績累積値	194.7	524.5	831.9	1,172.1	1,551.0	1,939.3		2,241.1	2,581.0	2,922.9	3,221.8	3,485.4	3,803.6	3,804			
					評 価	■	○	■	○	■	○		■	○	■	○	■	○	■			
	3) 都市ガスの使用量削減	原単位	1.87	1.85	原単位	1.81	1.72	1.79	1.69	1.70	1.64	削減活動 を継続す る	1.50	1.71	1.67	1.76	1.73	1.84	1.71	○	達成の要因：蒸気漏 れの発生時ににおい て、素早い対応がで きたこと。	
		m ³	156,763	162,955	計画ガス使用量	13,580	13,580	13,580	13,580	13,580	13,580		13,580	13,580	13,580	13,580	13,580	13,580				
					計画累積値	13,580	27,159	40,739	54,318	67,898	81,478		95,057	108,637	122,216	135,796	149,376	162,955				
				1%削減	実績ガス使用量	11,311	12,551	12,978	11,631	12,937	12,536		8,987	12,123	13,698	11,130	12,200	12,446				
					実績累積値	11,311	23,862	36,840	48,471	61,408	73,944		82,931	95,054	108,752	119,882	132,082	144,528	144,528			
					評 価	■	○	■	○	■	○		■	○	■	○	■	○	■			
2	廃棄物の排出量削減	原単位	0.095	0.094	原単位	0.081	0.085	0.076	0.096	0.084	0.077	削減活動 を継続す る	0.094	0.083	0.081	0.073	0.087	0.111	0.085	○	達成の要因：分別管 理及び包装紙などを 廃棄せず再利用を進 められたこと。	
		kg	7,940	8,254	計画一般ごみ排出量	688	688	688	688	688	688		688	688	688	688	688	688				
					計画累積値	688	1,376	2,063	2,751	3,439	4,127		4,815	5,502	6,190	6,878	7,566	8,254				
				1%削減	実績一般ごみ排出量	510	620	550	660	640	590		560	590	660	460	610	750				
					実績累積値	510	1,130	1,680	2,340	2,980	3,570		4,130	4,720	5,380	5,840	6,450	7,200	7,200			
					評 価	■	○	■	○	■	○		■ ×	○	■	○	■	○	■ ×			
	2) 産業廃棄物の排出量削減 (廃プラなど)	原単位	0.407	0.403	原単位	0.011	0.565	0.093	0.017	0.590	0.052	削減活動 を継続す る	0.611	0.303	0.724	0.667	0.103	0.049	0.319	○	達成の要因：分別管 理のほか薬品の適正 管理により汚泥の削 減ができたこと。	
		kg	34,080	35,426	計画産業廃排出量	2,952	2,952	2,952	2,952	2,952	2,952		2,952	2,952	2,952	2,952	2,952	2,952				
					計画累積値	2,952	5,904	8,857	11,809	14,761	17,713		20,665	23,617	26,570	29,522	32,474	35,426				
				1%削減	実績産業廃排出量	70	4,135	674	120	4,480	400		3,650	2,150	5,930	4,230	729	330				
					実績累積値	70	4,205	4,879	4,999	9,479	9,879		13,529	15,679	21,609	25,839	26,568	26,898	26,898			
					評 価	■	○	■ ×	■	○	■		○	■ ×	○	■	○	■	○	■		
3	水の使用量削減	原単位	0.499	0.494	原単位	0.525			0.503		0.490	再発防止 対策の実 施	0.482			0.500		0.487	0.493	○	達成の要因：節水活動 を進め、使用量としては 減っているが、売上が予 想より下回ってしまった ため目標原単位がぎりぎ りであった。	
		m ³	41,782	43,432	計画水使用量	7,239			7,239		7,239		7,239			7,239		7,239				
					計画累積値	7,239			14,477		21,716		28,955			36,193		43,432				
				1%削減	実績水使用量	6,460			7,327		7,100		6,553			7,632		6,515				
					実績累積値	6,460			13,787		20,887		27,440			35,072		41,587	41,587			
					評 価	■	×		■	×	■		○			■	×	■	○			
4	化学物質の使用量削減	原単位	0.949	0.940	原単位	0.823	1.153	0.769	0.900	0.857	0.897	削減活動 を継続す る	1.030	1.130	0.895	0.904	0.854	0.891	0.925	○	達成の要因：分析頻 度を上げ適正補充を 実施したこと。	
		kg	79,525	82,666	計画化学物質使用量	6,889	6,889	6,889	6,889	6,889	6,889		6,889	6,889	6,889	6,889	6,889	6,889				
					計画累積値	6,889	13,778	20,667	27,555	34,444	41,333		48,222	55,111	62,000	68,889	75,777	82,666				
				1%削減	実績化学物質使用量	5,155	8,437	5,566	6,200	6,508	6,840		6,154	8,006	7,331	5,732	6,021	6,036				
					実績累積値	5,155	13,592	19,158	25,358	31,867	38,706		44,860	52,866	60,197	65,929	71,950	77,985	77,985			
					評 価	■	○	■ ×	■	○	■		○	■	○	■	○	■	○			
5	クレーム発生率の削減	%	0.143	0.136	計画クレーム発生率	0.136	0.136	0.136	0.136	0.136	0.136	再発防止 対策の実 施	0.136	0.136	0.136	0.136	0.136	0.136		達成の要因：下半期、再 発防止対策の実施及び掲 示による周知ができたこ と。		
				5%削減	実績クレーム発生率	0.236	0.185	0.144	0.150	0.000	0.139		0.064	0.090	0.172	0.093	0.171	0.081	0.127			
					実績平均値	0.236	0.210	0.188	0.179	0.143	0.142		0.131	0.126	0.131	0.127	0.131	0.127				
					評 価	■	×	×	×	×	×		○	■	×	×	○	■	○			

7. 2 環境経営計画の取組結果とその評価、 次年度の取組内容

2025年2月～2026年1月

No	環境経営目標	目標達成手段	取 組	
			結果・コメント	次年度の内容
1	二酸化炭素の排出量削減 1) 電力の使用量削減	生産設備の適正管理	仕事量に見合った稼働時間を凝縮し管理。空いた時間は他部署へ応援を実施。目標達成。	設備の適正管理、室温の適正化のほか ①各配管の保冷・保温 ②電解方式の最適化を追加し取組み実施する
		室温の適正化(設定は個々の場所による)夏:28℃、冬:20℃		
		PC、I7ON、照明の切り忘れ回数の削減及びこまめな節電		
	2) 化石燃料の使用量削減 (ガソリン・軽油)	効率の良い出張(行先に応じた社用車又は公共交通機関の利用)	社用車又は公共交通機関を選び出張を実施。エコドライブ10の取組を実施。目標達成。	エコドライブ10の取組みを継続する。
		エコドライブ10による運転		
	3) 都市ガスの使用量削減	ボイラー稼働時間の適正化	蒸気漏れ時の迅速な対応を実施。目標達成。	蒸気漏れ時の迅速な対応のほか、ボイラー稼働時間の見直しをする。 (夏季:冬季)
		蒸気漏れ時の迅速な対応		
2	廃棄物の排出量削減 1) 一般廃棄物の排出量削減 (可燃ごみ)	分別管理の周知徹底(計量廃棄)	分別管理及び新聞紙、包装紙の再利用を実施。目標達成。	パソコン2画面によるペーパーレス化。 新聞紙・包装紙の再利用を継続する。
		カラーコピーのゼロ化		
		電子メディアによるペーパーレス化		
	2) 産業廃棄物の排出量削減 (廃プラ等)	新聞紙、包装紙の再利用	分別管理及び汚泥削減の取組みを実施。目標達成。	汚泥削減の取組みのほか、前年度取組みを継続する。
		分別管理の周知徹底		
3	水の使用量削減	設備の材質変更の検討・実施	給水時の漏洩監視を実施。積算流量計の監視を実施。目標達成。	部暑毎の使用量の把握のほか、節水の取組みを継続して実施する。
		節水の意識を高め、徹底		
		節水シール表示の見直し		
4	化学物質の使用量削減	積算流量計の取付と監視	分析頻度を上げ適正補充。目標達成。	PRTR物質を中心に化学物質削減の取組み継続して実施する。
		適正な維持管理の徹底(管理幅内)		
5	クレーム発生率の削減	研磨液使用量適正化の推進	Fゲ分析、再発防止対策に取組み、クレーム発生率の削減を実施。目標達成。	クレーム発生率の削減を継続して取組みを実施する。
		再発防止活動の推進		
		発生状況の社内周知(グラフの掲示)		
		受入検査開始と出荷検査強化		

7.3 次年度の環境経営目標

2026年度

環境経営目標設定表

環境経営目標	単位	基準値	年 度 目 標		
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
売上高	万円	83,780	87,969	92,158	96,347
二酸化炭素の排出量削減	原単位	10.56	10.46	10.35	10.24
	kg-CO ₂	884,828	919,779	953,845	987,026
			1 %削減	2 %削減	3 %削減
	原単位	12.33	12.21	12.08	11.96
	kwh	1,033,100	1,073,907	1,113,682	1,152,423
			1 %削減	2 %削減	3 %削減
	原単位	0.0667	0.0660	0.0653	0.0647
	L	5,585	5,806	6,021	6,230
			1 %削減	2 %削減	3 %削減
	原単位	1.87	1.85	1.83	1.81
	m ³	156,763	162,955	168,991	174,869
			1 %削減	2 %削減	3 %削減
一般廃棄物の排出量削減 (可燃ごみ)	原単位	0.095	0.094	0.093	0.092
	kg	7,940	8,254	8,559	8,857
			1 %削減	2 %削減	3 %削減
産業廃棄物の排出量削減 (廃プラ等)	原単位	0.407	0.403	0.399	0.395
	kg	34,080	35,426	36,738	38,016
			1 %削減	2 %削減	3 %削減
水の使用量削減	原単位	0.499	0.494	0.489	0.484
	m ³	41,782	43,432	45,041	46,608
			1 %削減	2 %削減	3 %削減
化学物質の使用量削減	原単位	0.949	0.940	0.930	0.921
	kg	79,525	82,666	85,728	88,710
			1 %削減	2 %削減	3 %削減
クレーム発生率の削減	%	0.143	0.136	0.129	0.122
			5 %削減	10 %削減	15 %削減

※電力のCO₂排出係数は、2023年(令和5年)中国電力実績の調整後排出係数0.511kg-CO₂/kwhを適用した。

※原単位は、「売上10,000円当たりの値」とした。

7. 4 次年度環境経営目標の取組内容

2026年度（2026年2月～2027年1月）

評価 達成：○ 未達：× 計画：□ 実施：■ 四捨五入数値は合計で修正

No	環境経営目標	単位	基準値	2026年度	売上目標(万円)	取組実績（2026年2月～2027年1月）														
			2024年度	目 標	92,158	2月	3月	4月	5月	6月	7月	年間 挽回策	8月	9月	10月	11月	12月	1月	実 績	評 価
1	二酸化炭素の排出量削減	原単位	10.56	10.35	原単位	10.23														
		kg- CO ₂	884,828	953,845	計画CO ₂ 排出量	79,487	79,487	79,487	79,487	79,487	79,487		79,487	79,487	79,487	79,487	79,487	79,487		
					計画累積値	79,487	158,974	238,461	317,948	397,435	476,923		556,410	635,897	715,384	794,871	874,358	953,845		
				2%削減	実績CO ₂ 排出量	70,272														
					実績累積値	70,272														
					活動評価及び評価	■	○	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□		
	1) 電力の使用量削減	原単位	12.33	12.08	原単位	12.26														
		kwh	1,033,100	1,113,682	計画電力使用量	92,807	92,807	92,807	92,807	92,807	92,807		92,807	92,807	92,807	92,807	92,807	92,807		
					計画累積値	92,807	185,614	278,421	371,227	464,034	556,841		649,648	742,455	835,262	928,068	1,020,875	1,113,682		
				2%削減	実績電力使用量	84,226														
					実績累積値	84,226														
	2) 化石燃料の使用量削減 （ガソリン・軽油）	原単位	0.0667	0.0653	原単位	0.040														
		L	5,585	6,021	計画燃料使用量	502	502	502	502	502	502		502	502	502	502	502	502		
					計画累積値	502	1,004	1,505	2,007	2,509	3,011		3,512	4,014	4,516	5,018	5,519	6,021		
				2%削減	実績燃料使用量	274														
					実績累積値	274														
	3) 都市ガスの使用量削減	原単位	1.87	1.83	原単位	1.76														
		m ³	156,763	168,991	計画ガス使用量	14,083	14,083	14,083	14,083	14,083	14,083		14,083	14,083	14,083	14,083	14,083	14,083		
					計画累積値	14,083	28,165	42,248	56,330	70,413	84,496		98,578	112,661	126,743	140,826	154,908	168,991		
				2%削減	実績ガス使用量	12,125														
					実績累積値	12,125														
	2 廃棄物の排出量削減	原単位	0.095	0.093	原単位	0.154														
		kg	7,940	8,559	計画一般ごみ排出量	713	713	713	713	713	713		713	713	713	713	713	713		
					計画累積値	713	1,427	2,140	2,853	3,566	4,280		4,993	5,706	6,419	7,133	7,846	8,559		
				2%削減	実績一般ごみ排出量	1,060														
					実績累積値	1,060														
	2) 産業廃棄物の排出量削減 （廃プラなど）	原単位	0.407	0.399	原単位	0.726														
		kg	34,080	36,738	計画産廃排出量	3,062	3,062	3,062	3,062	3,062	3,062		3,062	3,062	3,062	3,062	3,062	3,062		
					計画累積値	3,062	6,123	9,185	12,246	15,308	18,369		21,431	24,492	27,554	30,615	33,677	36,738		
				2%削減	実績産廃排出量	4,989														
					実績累積値	4,989														
	3 水の使用量削減	原単位	0.499	0.489	原単位	0.504														
		m ³	41,782	45,041	計画水使用量	7,507			7,507		7,507		7,507			7,507		7,507		
					計画累積値	7,507			15,014		22,521		30,027			37,534		45,041		
				2%削減	実績水使用量	6,882														
					実績累積値	6,882														
	4 化学物質の使用量削減	原単位	0.949	0.930	原単位	1.045														
		kg	79,525	85,728	計画化学物質使用量	7,144	7,144	7,144	7,144	7,144	7,144		7,144	7,144	7,144	7,144	7,144	7,144		
					計画累積値	7,144	14,288	21,432	28,576	35,720	42,864		50,008	57,152	64,296	71,440	78,584	85,728		
				2%削減	実績化学物質使用量	7,176.5														
					実績累積値	7,176.5														
	5 クレーム発生率の削減	%	0.143	0.129	計画クレーム発生率	0.129	0.129	0.129	0.129	0.129	0.129		0.129	0.129	0.129	0.129	0.129	0.129		
				10%削減	実績クレーム発生率	0.079														
					評 価	■	○	□	□	□	□		□	□	□	□	□	□		

8. 環境関連法規等の順守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

I. 遵守義務のある法規関係

区分	環境関連法規等名称	遵守状況確認・評価	
		チェック日	結果
公害防止	特定工場における公害防止組織の整備に関する法律（公害防止組織法）	26.02.02 唐木	○
大気汚染	大気汚染防止法	26.02.02 唐木	○
水質汚濁	水質汚濁防止法	26.02.02 唐木	○
	下水道法	26.02.02 唐木	○
	工業用水法	26.02.02 唐木	○
騒音・振動	騒音規制法	26.02.02 唐木	○
	振動規制法	26.02.02 唐木	○
化学物質	特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（化管法）	26.02.02 唐木	○
	毒物及び劇物取締法	26.02.02 唐木	○
消防	消防法（危険物関連）	26.02.02 唐木	○
	相模原市火災予防条例	26.02.02 唐木	○
廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）	26.02.02 唐木	○
土壌	土壌汚染対策法	26.02.02 唐木	○
資源循環 （リサイクル）	使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律（小型家電リサイクル法）	26.02.02 唐木	○
	フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（フロン排出抑制法）	26.02.02 唐木	○
環境保全	神奈川県生活環境の保全等に関する条例	26.02.02 唐木	○
	相模原市環境保全に関する条例	26.02.02 唐木	○
労働安全	労働安全衛生法（有機溶剤中毒予防規則、特定化学物質障害予防規則含む）	26.02.02 唐木	○

当社に係る環境関連法規等に対して違反はありませんでした。

また、関連機関からの違反等の指摘、環境関連の訴訟も過去3年間ありませんでした。

9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

代表者による全体の評価と見直し結果報告書

見直し実施日	2026年2月1日 (☒ 定期見直し ☐ 臨時見直し)		
見直し対象期間	2025年2月1日 ~ 2026年1月31日		
出席者	代表者、環境管理責任者、部署責任者		
前回の見直し記録 より指示への取組 結果	2024年度の状況を踏まえ、より現実的で継続的改善が可能な環境経営体制を構築するため、2025～2027年度（3年間）の新たな中期目標を設定し、活動を開始した。環境負荷を「売上の変動に左右されず評価できるようにする」ため、原単位（排出量・使用量 ÷ 売上高）で管理する形式に統一。 指標：売上1万円あたりの使用量・排出量 対象：電力、都市ガス、水、廃棄物（一般・産廃）など 新しい目標設定のもと取り組んだ結果、2025年度は以下の分野で原単位目標を達成した。 継続して環境負荷低減と生産効率向上を両立させる活動を推進していく。		
見直しに必要な 情報	1 環境関連法規の順守状況(環境関連法規等取りまとめ表兼順守確認評価表による) 2 環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況、その評価結果 3 適用範囲、実施体制 4 問題点の是正処置及び予防処置の結果（是正／予防処置報告書による） 5 外部からの環境に関する苦情等の受付結果(外部コミュニケーション記録による) 6 その他（法規制の動向や取引先からの「グリーン調達」の情報等）		
代表者による評価 経営的観点	【環境経営システムが有効に機能しているか】（1, 3, 4, 5などを踏まえて評価） 2025年度は主要な環境経営目標において原単位ベースで「水の使用量削減」以外は、全項目を達成している。 未達成の要因を明確にして是正することで環境経営システムは有効に機能していると判断いたします。 引続き中期目標計画を確実に進め効率的な改善活動を推進してください。		
	【環境経営への取組が適切に実施されているか】（2などを踏まえて評価）		
	目標項目	目標達成 状況	経営計画 実施状況
	二酸化炭素の 排出量削減	○	○
	廃棄物の排出量 削減	○	○
	水の使用量 削減	○	○
	化学物質の使用量 削減	○	○
	クレーム発生率の 削減	○	○
代表者による 見直し 変更の必要性の有 無・変更に必要な 具体的指示事項	【環境経営方針】 変更の必要性： ☐ 有 ☒ 無 環境経営方針については、2025年1月に見直ししている。2026年度は、継続して活動をする。		
	【環境経営目標及び環境経営計画】 変更の必要性： ☐ 有 ☒ 無 2025年度は、中期目標（3年間）の開始年度であり環境経営目標・計画について、次年度2026年度も原単位ベースでの目標活動を継続実施すること。		
	【実施体制】 変更の必要性： ☐ 有 ☒ 無 2025年8月に組織変更を実施し、営業部に業務課を追加した。実施体制を見直し改訂した。		
	【環境経営システム等】 変更の必要性： ☐ 有 ☒ 無 現在のシステムをこのまま維持する		
	【総括】 製造業では投資・生産計画の見直しが続き、光学分野では海外生産シフトが加速。国内受注は絞り込みが進み、円安長期化によりエネルギー費・薬品・原材料価格が高止まりし、コスト転嫁が難しくなっている。 この厳しい環境下でも、2025年度は環境経営中期計画（初年度）の目標は、「水使用量削減」について使用量減少であったが、原単位ベースではわずかに下回り達成となった。削減活動をしっかり行い改善を実施してください。2026年度は環境経営のさらなるレベルアップと、エネルギー効率向上・ロス削減を中心としたコスト削減を推進していく。		